

(別紙4(2))

事業所名 グループホームひまわり

## 目標達成計画

作成日: 平成 21 年 11 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	重度者が増え、職員は介助に手をとられるため、共に食事を楽しむ雰囲気となっていない。利用者が一律に同じエプロンを付けている。	職員と利用者が共に食事をし会話を楽しめる場面がもてる。個々の個性や能力に合った支援を行う。	職員と利用者が一斉に食事を共にすることは現状困難だが、職員の時間配分を調整し、共に食事をとれる時間をつくる。与えるケアよりも寄り添うケアを意識していく。	3ヶ月
2	4	運営推進会議が定期的に行われている中で、サービス向上となっている事例があるが、参加メンバーの拡大には至っておらず、より多くの意見の取り入れ、地域での理解をより深めていただくためにも参加者の拡大を課題とする。	運営推進会議への参加者拡大(地域住民、家族等)	家族が利用者と共に参加できるよう個別に対応。また、定期ではなく流動性を持たせ、より多くの方が参加しやすいよう呼びかけていく。また区長に協力をお願いし、地区会議と合同で行うなどの案を提案していく。	6ヶ月
3	6	一部車椅子への拘束が行われている。	最大限拘束をしないケアへの取り組みを実現	安全性に対するリスクの問題を掘り下げて検討。個々の状態に合わせ、一日の中でどこまで拘束せずリスク回避ができるかを再検討する。研修などを通じ拘束廃止に対する意識の向上に努める。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。